

○論文試験問題例

〈事務行政（22-25）（行政）〉

大阪市においては、子育て世代への重点投資により現役世代の活力を生み出し、その活力を高齢者にも還元する流れを作るとともに、真に支援を必要とする方へのサポートも充実させるなど、子供や子育て世代だけでなく、誰もがいつまでも住みたい、住み続けたいまちを実現する必要がある。

あなたが考える「住み続けたいまち大阪」とはどういったものか説明し、また、それを実現するためにどのような取組みが必要か、あなたの考えを述べなさい。

〈事務行政（22-25）（デジタル）〉

大阪市では、データやデジタル技術の活用を前提に、市民 QoL（生活の質）の向上及び都市力の向上をめざすため、令和5年4月に『Re-Design おおさか～大阪市 DX 戦略～』を施行し、本格的に DX（デジタルトランスフォーメーション）（※）の推進に取り組んでいる。

2040年問題と言われるように、近い将来、生産年齢人口の減少に伴う労働力の絶対量の不足が想定されている中、社会環境の変化、地域課題や社会ニーズが複雑化、多様化している。このような変化に対応するため、大阪市はどのような自治体をめざすべきだと考えるか。

大阪市がめざす「市民 QoL（生活の質）の向上」又は「都市力の向上」という観点を踏まえ、大阪市のめざすべき姿を具体的に提案し、その実現のためにどのようにデータやデジタル技術を活用していくのか、以下のキーワード群から3つ以上のキーワードを用いて述べなさい。

【キーワード群】

アジャイル	ウェアラブルデバイス	オープンデータ					
クラウドサービス	シングルサインオン	デジタルツイン					
データ連携	ドローン	ノーコードツール・ローコードツール					
パーソナルデータ	ビッグデータ	マイナンバー	メタバース				
ロボット	AI	API	ASP	BI	BPR	EBPM	IoT
MaaS	RPA	SaaS	UI・UX	3Dデータ			

※「DX（デジタルトランスフォーメーション）」

進化したデジタル技術が普及することで、人々の生活をあらゆる面でより良

いものに変革していくこと。

〈消防吏員 A〉

大阪市は、令和4年の火災件数は643件で前年に比べて7.9%増加している一方で、近年は映画館やスーパーマーケット、宿泊施設や商業施設等の様々な集客施設が立ち並び、市民はもとより国内外から多くの人々が集まる都市である。そのような大阪市の地域特性はもちろん、インバウンドの増加等の変わり続ける情勢を的確に捉えた火災予防をするためには、どのような取組が必要であるか、あなたの考えを述べなさい。

〈事務行政（26-34）（行政）〉

本格的な少子高齢・人口減少社会が到来し、生産年齢人口の減少による経済成長の制約や社会全体の活力低下が懸念される中、限られた行政資源の中で、社会環境の変化に柔軟に対応し、効果的・効率的な行財政運営を追求していく必要がある。

そんな中、職員一人ひとりが安心して働くことのできる魅力ある職場を実現し、ワーク・ライフ・バランスの推進や多様な働き方ができる勤務環境の構築が求められている。

そこで、より良い職場環境を構築するための有効な方策や本市が果たすべき役割について、公務員としての倫理観やコストも念頭におきながら具体的に提案しなさい。

〈事務行政（26-34）（デジタル）〉

大阪市では、デジタル技術の活用を前提に、市民 QoL（生活の質）の向上及び都市力の向上に繋げるため、令和5年4月に『Re-Design おおさか～大阪市 DX 戦略～』を施行し、DX（デジタルトランスフォーメーション）（※）を推進しているところである。

そこで、次のテーマ群より1つ以上のテーマを選び、そのテーマに関する取組について、あなたがこれまでに培った知識や経験を踏まえて、デジタル技術の活用を前提とした新たな行政サービス又は既存の行政サービスへの改善や工夫を、その提供方法も含めて提案しなさい。また、そのデジタル技術を前提としたサービスにより、市民の生活にどのようなメリットが生まれるか、具体的に述べなさい。

い。なお、冒頭に選んだテーマを明示すること

【テーマ群】

①ライフイベント	②防災	③防犯	④子育て	⑤教育
⑥福祉	⑦健康	⑧観光・イベント	⑨インフラ	⑩交通
⑪ごみ・環境	⑫救急・消防	⑬まちづくり		

※「DX（デジタルトランスフォーメーション）」

進化したデジタル技術が普及することで、人々の生活をあらゆる面でより良いものに変革していくこと。

〈社会人等社会福祉（有資格）・社会人経験者社会福祉〉

- 1 こども家庭庁によると、令和4年度中に、全国232か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は219,170件（速報値）であり、児童虐待の相談対応件数は一貫して増加している。このような児童虐待の現状について、①児童虐待の主な虐待者、②虐待の種類、③虐待に至る要因、の3点から述べなさい。
- 2 1で示した児童虐待の現状を踏まえた上で、児童虐待を防止するために、特にあなたが重要だと考える自治体が果たすべき役割について、具体的に述べなさい。

〈社会人等社会福祉（47-54）〉

本市においては、令和4年度のこども相談センターにおける児童虐待相談件数が6,319件、区保健福祉センターでの相談件数合計が1,654件となっているが（いずれも速報値）、児童虐待相談件数は、全国的にも依然として高い数字で推移しており、深刻な状況となっている。

そこで、児童虐待を防止するために、自治体が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。